

令和 7 年度

企画展「暮らしのうつりかわり展 一人と道具のあゆんできた道」

開催決定のお知らせ

会期 | 2026 年 1 月 20 日(火) - 3 月 15 日(日)



企画展

暮らしの
うつりかわり展

— 人と道具のあゆんできた道 —

2026
会期 1.20(火)・3.15(日)
休館日: 毎週月曜日 (7/17/3日/11/29/12/29を除く)

開館時間 9時30分～17時30分(入館は17時まで)

観覧料 大人200円、大学・高校生150円、
中学生以下無料
※20名以上の団体で2割引
※65歳以上の方は半額
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・
ミライロID手帳提示の方と介護者1名は半額
※シニアいざいサポート提示で無料

主催 明石市立文化博物館
協力 兵庫県立図書館・あかし市民図書館

明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号 TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409

300年経ても輝く明石

開催趣旨

毎年恒例の昭和の暮らしを振り返る展覧会「暮らしのうつりかわり展」、今回は「人と道具のあゆんできた道」と称して、明石とその周辺では明治時代からどのような歴史や経過があったのか、これまでの人と道具の道のりを振り返って紹介します。約 150 年前から、日本は近代化の道を進んできました。電灯がとまり、鉄道が走り、小学校ができるなどの生活と制度がはじまり、今に続いています。

本展では、今までの総集編とし、昨年好評を頂いた多聞新八氏の絵とともに、明治時代から昭和時代までの電気やガス、水道の普及や道路・通信などの整備と、それによりどう道具や生活がうつりかわってきたのかを展示します。

変化し続ける世界のこれからの姿を考えるきっかけにいただければ幸いです。

本展のみどころ

- 1 明治時代から昭和時代までの生活道具 約 100 点を公開！
- 2 昨年好評をいただいた多聞新八氏の絵とともに人々の生活を考える
- 3 明石とその周辺の昭和のくらしを振り返る「くらしのうつりかわり展」の総集編

開催概要

展覧会名	企画展「くらしのうつりかわり展 一人と道具のあゆんできた道一」
日時	2026年1月20日(火)－ 2026年3月15日(日) 9：30－17：30 （入館は17：00まで）
休館日	毎週月曜日 ※2月23日(月・祝)は開館
観覧料	大人 200円、大学・高校生 150円、中学生以下無料 ※ 20名以上の団体は2割引 ※ 65歳以上の方は半額 ※ 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ ミライロID手帳提示の方と介護者1名は半額 ※ シニアいきいきパスポート提示で無料
会場	明石市立文化博物館 1階 特別展示室
主催	明石市立文化博物館

展示構成

- はじめに
- 第1章 通りを行きかう人々
- 第2章 家の中の変化
- 第3章 食事の変化
- 第4章 情報伝達の変化
- 第5章 教育の変化

関連イベント

※ 高校生以上の方のイベントのご参加には当日観覧券が必要です。

※ 申込不要

1. おっちゃんの紙芝居

- 日時 ① 2026年2月1日(日)
② 2026年2月15日(日)
③ 2026年2月21日(土)
④ 2026年3月7日(土)
いずれも14時～（各回30～40分程度）
- 場所 1階 体験学習室
- 定員 各回40名
- 演者 阿部 元則 氏（紙芝居師）
- 参加方法 当日先着順。13時より整理券を配布。定員に達し次第受付終了。

2. 昭和ノスタルジーコンサート＆朗読「音色とことばでたどる昭和の記憶」

- 日時 2026年2月14日(土) 13時30分～（1時間30分程度）
- 場所 1階 体験学習室
- 定員 40名
- 演者 中村 祐子氏（オルガン奏者）、あかし市民図書館（朗読・本紹介）

3. ワークショップ「足踏みミシンを使って布を縫ってみよう」

- 日時 2026年2月28日(土)
① 10時～12時 ② 13時～16時（各回20分）
- 場所 1階 体験学習室
- 定員 同時に2名まで（対象：小学3年生以上）
- 備考 ミシンの不調により、1名ずつもしくはしばらくお待ちいただく場合もあります。

4. ギャラリートーク「昔の生活を聞いて、体験してみよう！」

- 日時 2026年3月15日(日)
① 10時30分～ ② 13時30分～（各回30分程度）
- 場所 1階 特別展示室

※ 各イベントでは、手話通訳者・要約筆記者の派遣が可能です。

手話通訳・要約筆記希望の方は事前にご連絡ください。

（直前にお申込みの場合はご対応できない場合がございます。）

広報用画像



1 多聞新八手記『通って来た道』より



2 多聞新八手記『通って来た道』より



3 多聞新八手記『昭和初期一筆画二号』より



4 パンを買う少年 水野進氏提供
(昭和 29 年撮影)



5 昭和の部屋の再現展示
(2022 年度展示写真)



6 麻スーツ・カンカン帽



8 モンペと割烹着



7 女性の着物

報道関係者
お問い合わせ先

明石市立文化博物館
〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号
TEL : 078-918-5400 FAX : 078-918-5409
Email: press@akashibunpaku.com
本展担当：明石市 市民生活局 文化・スポーツ室 歴史文化財担当（吉本・須貝）

令和 7 年度

企画展「くらしのうつりかわり展 ―あゆんできた道―」

FAX ご連絡先 (078) 918-5409

ご希望の画像番号に○をつけてご返送をお願いいたします。

本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名様まで)もご用意しておりますので、ご連絡ください。

番号	必要キャプション及びクレジット
1	多聞新八手記『通って来た道』より
2	多聞新八手記『通って来た道』より
3	多聞新八手記『昭和初期一筆画二号』より
4	パンを買う少年 水野進氏提供(昭和 29 年撮影)
5	昭和の部屋の再現展示(2022 年度展示写真)
6	麻スーツ・カンカン帽
7	女性の着物
8	モンベと割烹着

貴社名		
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)	
ご担当者名		
ご住所	〒	
電話番号	TEL	FAX
メールアドレス	@	
URL		
掲載・放送予定日		
写真到着希望日		

- ・データの使用は、本イベントの紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。使用後は速やかにデータの消去をお願いします。
- ・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。
- ・本イベントに関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)をお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ・本イベント会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。